

2018年度 決算説明

－ 2018年1月～12月 －

2019年2月14日

株式会社 **CAC Holdings**

アジェンダ

- I．2018年度決算概況
- II．中期経営戦略と2019年度の取り組み
- III．2019年度業績予想および株主還元について

I . 2018年度決算概況

連結業績概要（前年度比）

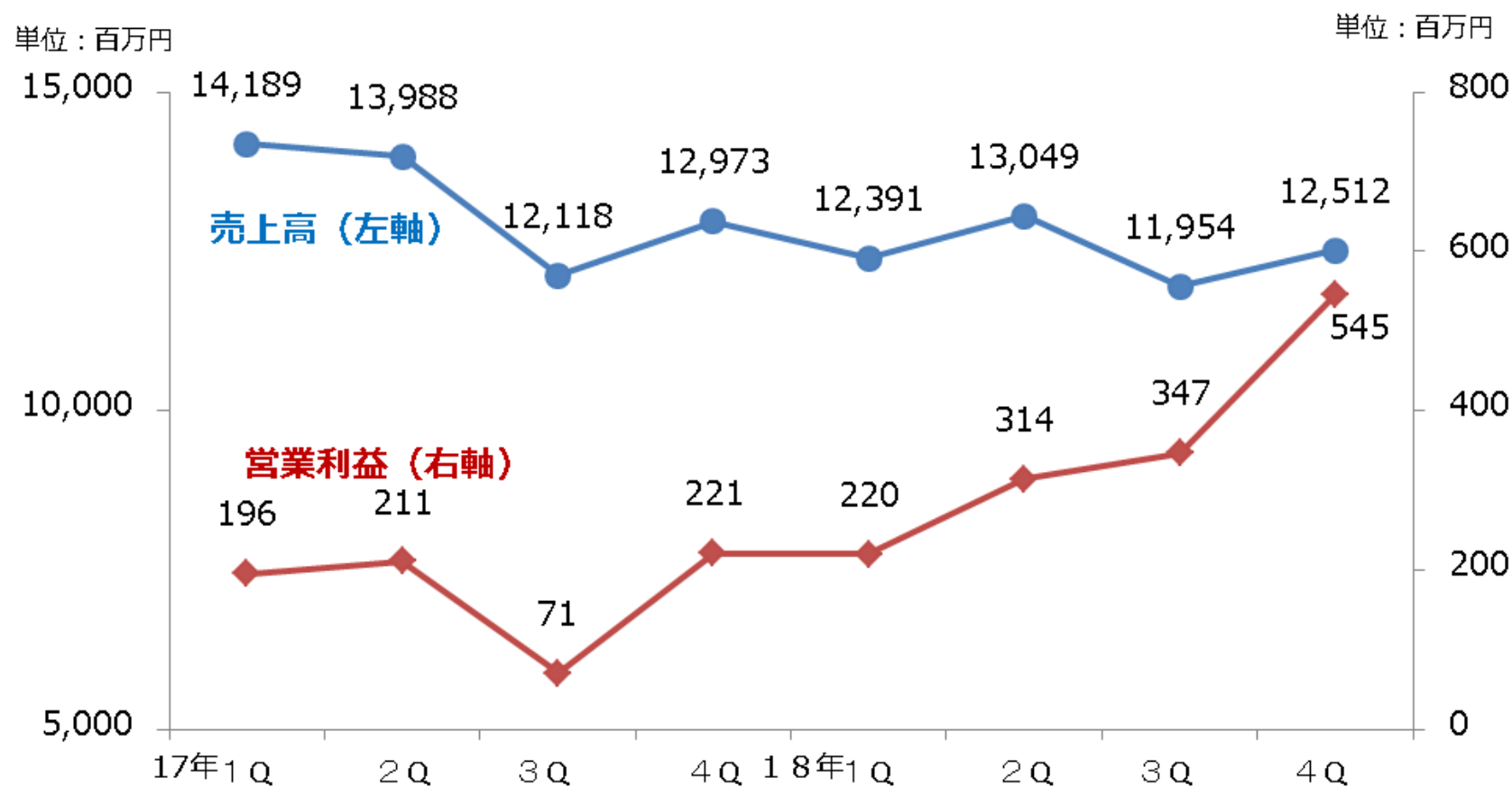
通期累計

単位：百万円

	2017年度	2018年度	前年度比	
			増減額	増減率
売上高	53,268	49,906	▲3,362	▲ 6.3%
売上総利益	10,272	10,481	+209	+2.0%
(対売上比)	19.3%	21.0%	1.7pt	
販管費	9,573	9,054	▲518	▲ 5.4%
営業利益	698	1,426	+728	+104.3%
(対売上比)	1.3%	2.9%	1.5pt	
経常利益	717	1,368	+650	+90.6%
(対売上比)	1.3%	2.7%	1.4pt	
特別利益	2,949	3,479	+529	+18.0%
特別損失	1,545	2,496	+951	+61.5%
当期純利益	1,100	1,319	+218	+19.9%
(対売上比)	2.1%	2.6%	0.6pt	

- ・ 事業再編の影響や、海外子会社の減収などにより売上減
- ・ 利益については、CRO事業の回復、赤字子会社の売却影響等から増益

連結業績四半期推移



セグメント別売上高・営業利益（連結）

売上高

単位：百万円

	2017年度		2018年度		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
国内IT	30,323	56.9%	29,623	59.4%	▲699	▲ 2.3%
海外IT	11,743	22.1%	9,280	18.6%	▲2,463	▲ 21.0%
CRO	11,201	21.0%	11,002	22.0%	▲198	▲ 1.8%
合計	53,268	100.0%	49,906	100.0%	▲3,362	▲ 6.3%

営業利益

	2017年度		2018年度		前年度比	
	金額	利益率	金額	利益率	金額	増減率
国内IT	1,022	3.4%	1,041	3.5%	+19	+1.9%
海外IT	▲600	-	▲308	-	+292	-
CRO	277	2.5%	693	6.3%	+416	+150.3%
合計	698	1.3%	1,426	2.9%	+728	+104.3%

※ 売上高は、外部顧客への売上高を表示

顧客業種別売上高（連結）

単位：百万円

	2017年度		2018年度		前年度比	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	増減率
金融	7,253	13.7%	6,107	12.3%	▲1,145	▲ 15.8%
信託	4,060	7.6%	4,359	8.7%	+299	+7.4%
医薬	16,268	30.5%	16,116	32.3%	▲151	▲ 0.9%
食品	3,105	5.8%	2,852	5.7%	▲252	▲ 8.1%
製造	3,360	6.3%	3,762	7.5%	+401	+12.0%
サービス他	19,221	36.1%	16,707	33.5%	▲2,513	▲ 13.1%
合計	53,268	100.0%	49,906	100.0%	▲3,362	▲ 6.3%

※ 外部顧客への売上高を表示

セグメント別受注高・受注残高状況（連結）

受注高

単位：百万円

	2017年度	2018年度	前年度比	
			金額	増減率
国内IT	30,023	29,588	▲434	▲ 1.4%
海外IT	10,838	11,206	+368	+3.4%
CRO	11,286	9,376	▲1,910	▲ 16.9%
合 計	52,147	50,171	▲1,976	▲ 3.8%

受注残高

	2017年度	2018年度	前年度比	
			金額	増減率
国内IT	6,742	6,706	▲35	▲ 0.5%
海外IT	1,349	3,166	+1,816	+134.6%
CRO	7,694	6,068	▲1,626	▲ 21.1%
合 計	15,786	15,941	+155	+1.0%

※ 外部顧客への受注高、受注残高を表示

業種別受注高（連結）

単位：百万円

	2017年度	2018年度	前年度比	
			金額	増減率
金融	7,037	6,608	▲429	▲ 6.1%
信託	3,912	4,209	+296	+7.6%
医薬	16,513	14,257	▲2,256	▲ 13.7%
食品	2,909	2,804	▲105	▲ 3.6%
製造	3,301	3,828	+526	+15.9%
サービス他	18,472	18,464	▲8	▲ 0.0%
合 計	52,147	50,171	▲1,976	▲ 3.8%

※ 外部顧客への受注高を表示

Ⅱ．中期経営戦略と 2019年度の取り組み

中期経営戦略全体像

課題認識

- ・ デジタルトランスフォーメーション（DX）の急速な拡大、浸透
- ・ ボーダレスかつシームレスなグローバル市場形成
- ・ 旧来型SIer・アウトソーサーは、淘汰される可能性大
- ・ 持続的な企業価値向上に向けた「攻め」のガバナンスへの意識の高まり



目標

- ・ 大きな変化に対応できる企業グループへの変貌
- ・ 株主価値の最大化

中期経営戦略の更改

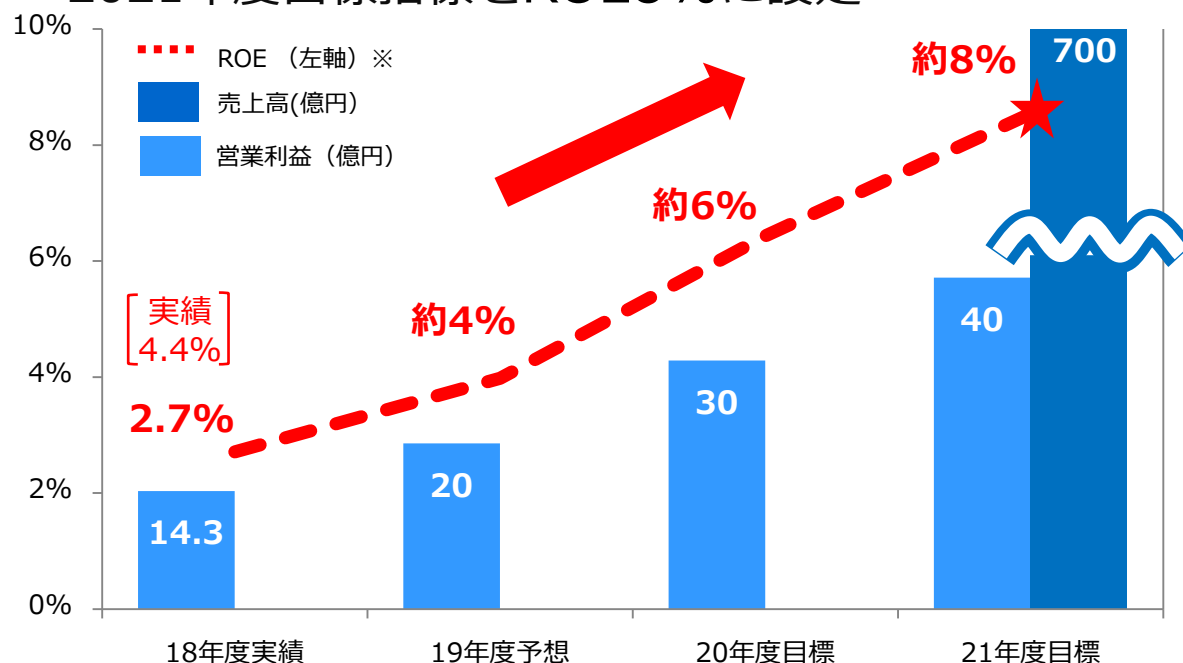
2018年

1年目として、最重要事項である事業伸長中心に施策を策定
同時に中期経営戦略のブラッシュアップに取り組む

2019年

中期経営戦略のコンセプトに **株主価値の最大化** を加え、
コーポレートガバナンス強化や資本効率化等の施策を盛り込んだ
基本方針（施策）を策定

2021年度目標指標をROE8%に設定



2021年度目標

ROE **8%**

売上高 **700**億円

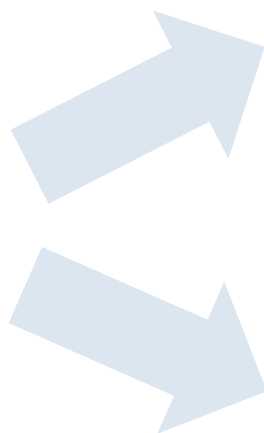
営業利益 **40**億円

※ 営業利益予想から算出した予想経常利益に税引（40%）を考慮した当期純利益を使用してROE算出

中期経営戦略 基本方針

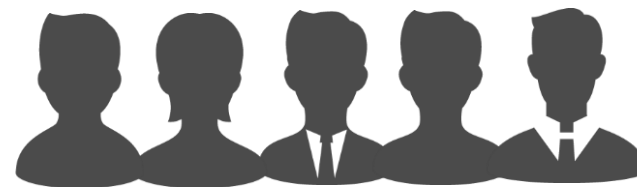
1. 経営と執行の分離によるガバナンス強化

- ・コーポレートガバナンスの強化とスピーディーな経営を目指し、経営の意思決定・監督機能と業務執行機能を分離
- ・更なるガバナンス強化および議論の活発化のため、2019年度は、取締役2名、社外取締役3名の予定※



取締役

方針や戦略の決定、業務執行の監督



執行役員

取締役会の方針に沿った業務執行に専念

※3/27開催の第53回株主総会にて、付議予定

中期経営戦略 基本方針

2. 意思決定の迅速化による機動的な事業遂行

- ・ 既存事業を4つに区分し、新規事業1つを加えた合計5つの事業ドメインを設置
- ・ 各ドメインに責任者となる執行役員を配置、各自の事業成長を追求するとともに成果責任を明確化

2018年度



株式会社 CAC Holdings

国内IT

CAC 株式会社 シーエーシー

株式会社 アークシステム

株式会社 シーエーナレッジ
CAC Knowledge Co., Ltd.

株式会社 CACオリス

CAC 株式会社 CACマルハニチロシステムズ

株式会社 ハイテックシステムズ

株式会社 kizasi.jp

海外IT

CAC AMERICA

CAC EUROPE

CAC 希亞思(上海)信息技術有限公司

CAC 高達計算機技術(蘇州)有限公司
GoldenTech Computer Technology (Suzhou) Co., Ltd.

CAC India Private Limited.

inspiriSYS
Formerly Accel Frontline Limited

CRO

Croit 株式会社 CACクロア

2019年度から



株式会社 CAC Holdings

コアICT領域

CAC 株式会社 シーエーシー

株式会社 アークシステム

株式会社 シーエーナレッジ
CAC Knowledge Co., Ltd.

株式会社 CACオリス

CAC 株式会社 CACマルハニチロシステムズ

株式会社 ハイテックシステムズ

CAC AMERICA

CAC EUROPE

ヘルスケア領域

Croit 株式会社 CACクロア

中国領域

CAC 希亞思(上海)信息技術有限公司
CAC 高達計算機技術(蘇州)有限公司
GoldenTech Computer Technology (Suzhou) Co., Ltd.

インド領域

CAC India Private Limited.

inspiriSYS
Formerly Accel Frontline Limited

未来領域

CAC 株式会社 CAC Holdings
専門部署
株式会社 kizasi.jp

中期経営戦略 基本方針

2. 意思決定の迅速化による機動的な事業遂行

各事業ドメインの主な取組み

1 ロア ICT領域

- ・ デジタルトランスフォーメーションへの取組み加速
- ・ 同一顧客、同一サービスへの戦略や体制の一本化による機動的で柔軟なサービスの提供

2 中国領域

- ・ デジタルビジネスの営業力強化、サービスメニューの多様化
- ・ 現地スタートアップへの投資

3 インド領域

- ・ 既存ビジネスのサービス化へのシフト
- ・ 不採算事業の切り離し、低採算事業の立て直し

4 ヘルスケア 領域

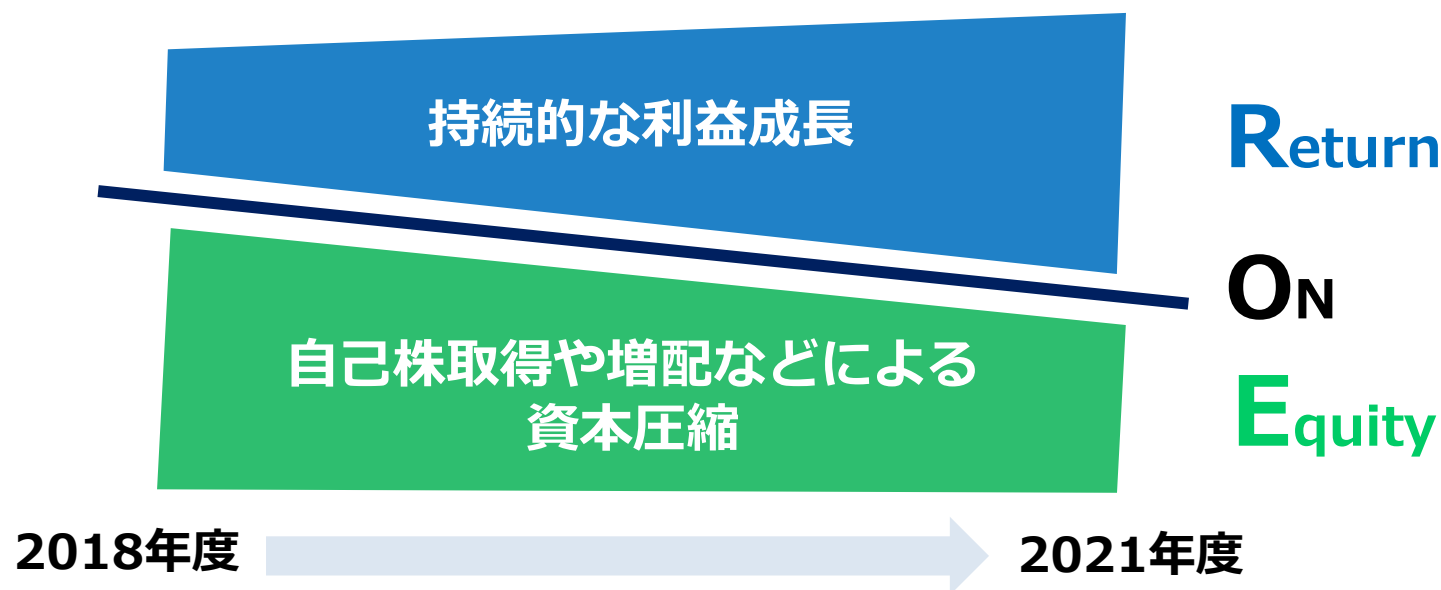
- ・ AI、RPAの継続活用などによる生産性、サービス品質の向上
- ・ 営業体制、プロセスの見直しによる受注拡大
- ・ 周辺事業の推進、新事業創出

5 未来領域

- ・ 成長が見込まれる企業のM&Aや提携
- ・ 事業提携先となりうるスタートアップへの出資継続

3. 資本効率改善と株主還元の強化

持続的な利益成長、安定的かつ継続的な配当、積極的な自己株式の取得などを組み合わせ、資本効率改善と株主への積極的な利益還元により、企業価値向上を目指す



4. 株主との価値共有促進

- ・報酬の一部を株式で支給する**株式報酬制度の導入**により、当社企業価値の持続的な向上を図るインセンティブを与えるとともに、株主との一層の価値共有を図る
- ・その他、IR活動を積極的に行い、さらなる情報共有を図る

譲渡制限付き株式報酬制度の概要

対象	社外取締役を除く当社取締役等 (一定の子会社等の従業員を含む)
取締役に対する付与総額	5,000株以内／年
時期及び配分	取締役会で決定
譲渡制限	割当を受けた日から3年～5年

Ⅲ．2019年度 業績予想および 株主還元について

2019年度 業績予想

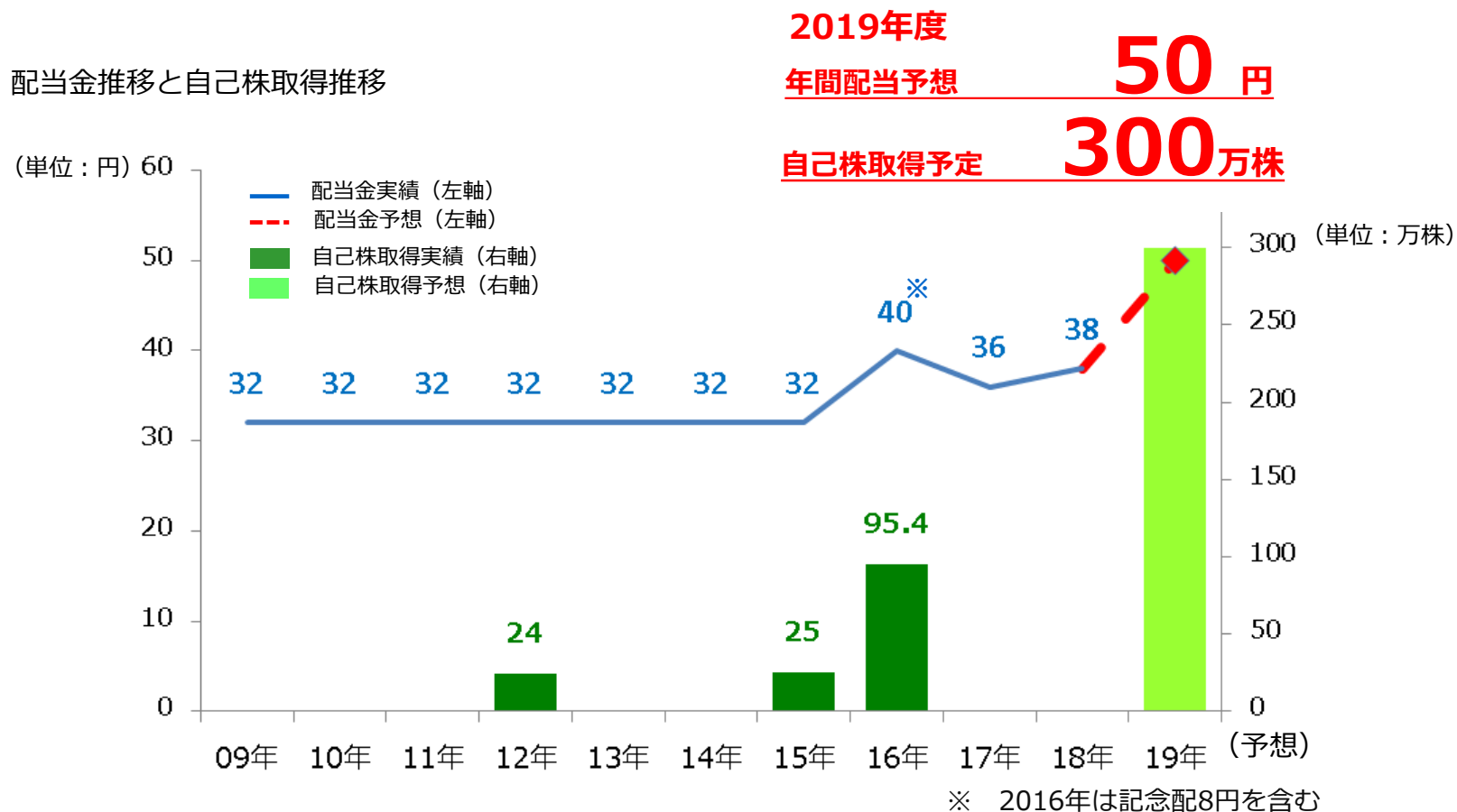
(単位：百万円)

	2018年度 実績	2019年度 通期予想	前年度比
売上高	49,906	52,000	+4.2%
営業利益	1,426	2,000	+40.2%
(対売上比)	2.9%	3.8%	
経常利益	1,368	1,900	+38.9%
(対売上比)	2.7%	3.7%	
当期純利益	1,319	1,350	+2.3%
(対売上比)	2.6%	2.6%	
配当	38円	50円	+12円

株主還元策（2019年度）

資本効率改善と株主への積極的な利益還元を推進するため、
2019年度 配当予想を1株当たり12円増配の50円とし、
2019年12月末までに、上限300万株（上限30億円）の自己株式を取得を予定

配当金推移と自己株取得推移



参考：下期主要ニュース（1／2）

セグメント	カテゴリ	リリース内容
国内IT	AI	CAC、感情認識AIで自動車乗員のリアルタイム感情分析を可能にする「Automotive AI」の提供開始（2018/8/1） CACは、リアルタイムで自動車の乗員の感情分析が可能な車内センシングAI「Automotive AI」の提供を開始。次世代のドライバーモニタリングシステムの開発や、快適な自動運転車両の開発などへの活用が期待される。
	RPA	CAC、RPAツール「UiPath」の提供開始（2018/8/23） CACは、RPA(Robotic Process Automation)大手の米UiPathの日本法人、UiPath(株)と日本国内におけるUiPath RPA プラットフォーム リセラー契約を締結し、同社のRPAツール「UiPath」を2018年8月から提供開始。
	ブロックチェーン	あいおいニッセイ同和損保、ソラミツとCAC、ブロックチェーン技術を利用したスマートコントラクト保険の実証実験を実施（2018/11/15） CACは、あいおいニッセイ同和損害保険(株)、ソラミツ(株)と、ブロックチェーン技術「Hyperledger Iroha」を利用したスマートコントラクト保険の実証実験を実施。ブロックチェーン技術及びスマートコントラクトを活用した損害保険を開発することで、保険契約に係る申込み手続きや保険金支払いの事務負担を軽減することを目指す。
	AI	日本ピザハット「おいしさAI解析CM」にCACの「心sensor」を採用（2018/11/28） CACが開発した「心sensor」を、日本ピザハット(株)による日本初の「おいしさAI解析CM」で、食べている人の表情を解析して「おいしさを可視化」するツールとして採用。
	AI	CAC、“AIで表情トレーニング” アプリ「心sensor for Training」提供開始（2018/12/6） 感情認識AI技術を用いて営業担当者や販売員のコミュニケーションスキルの向上を図る表情トレーニングアプリ「心sensor for Training」を提供開始。個人のコミュニケーションスキルの向上だけでなく、社内研修での活用や定期的なトレーニング利用による、組織全体の対人コミュニケーションスキルの底上げに有用。

参考：下期主要ニュース（2／2）

セグメント	カテゴリ	リリース内容
I T 内	B P O	CAC、新拠点BPOセンターを長崎に開設予定（2018/12/27） 2019年7月をめどにBPO事業拡大に向け「長崎市：長崎BizPORT」に長崎BPOセンター（仮称）を開設予定。顧客企業の人事部門他、総務・経理業務など、事務処理業務を包括的に受託予定。
	R P A	CACクロア、RPAを受託業務へ導入開始（2018/7/30） CACクロアは、国内大手新薬メーカーの医薬品安全性情報管理業務において、RPA（Robotic Process Automation）を活用し、作業時間の大幅な削減を成功させた。今回のRPAの適用を、その他さまざまなプロセスへの応用に進めている。
C R O	業務提携	CACクロア、新薬の開発期間短縮とコスト削減に向けビーグルと業務提携（2018/9/5） CACクロアと㈱ビーグルは、臨床試験・研究分野における治験症例データ収集から申請までの効率化を目指し、両社のツールとサービスを共同展開することに合意。
	ボ ッ チャ	第2回 CACカップ 学生ボッチャ交流戦を開催（2018/9/29） 9月29日にCACグループ主催の「第2回 CACカップ 学生ボッチャ交流戦」を東京都三鷹市で開催。12校20チーム、約80名が参加。CAC開発の「ボッチャメジャー」も使用され、大会を盛り上げた。
C S R	ボ ッ チャ	CAC Holdings 所属のボッチャアスリート、佐藤 駿選手が第20回日本ボッチャ選手権大会で第3位を獲得（2018/12/3） 当社所属の佐藤駿選手が、福島県国体記念体育館にて開催された第20回日本ボッチャ選手権大会にて、BC2クラスで第3位を獲得。



株式会社 **CAC Holdings**



CACグループは、障害者スポーツ「ボッチャ」の普及・発展をお手伝いしています

経営企画部 Enterprise Value Upグループ

TEL : 03-6667-8010 E-mail : prir@cac.co.jp

<https://www.cac-holdings.com/>